

ひとくち 一庫ダムの洪水調節（8月31日台風第16号）について

8月30日朝、九州に上陸した大型で強い台風第16号は、近畿地方を含む西日本の広い範囲にわたり大雨をもたらしました。猪名川水系一庫大路次川の一庫ダム（川西市一庫字唐松）上流域においても、8月30日20時から降り始め、22時から23時の1時間の流域平均雨量が29.1mmを記録、31日6時までの総雨量は94.6mmに達しました。

この降雨により31日1時30分には洪水量（毎秒150m³）に達したため、洪水調節を開始し、2時00分には最大流入量毎秒約191m³となりました。同時刻のダムからの放流量は、毎秒約8m³で、毎秒約183m³を調節し、9月1日9時までに約3,608千m³をダムに貯留しました。

今回の一庫ダムにおける洪水調節の効果を下流の小戸地点（池田市西本町）において試算すると、ダムが無かった場合には最高水位が1.88mになり、ダムの洪水調節により約0.46m（実際の最高水位1.42m）の水位が低減されました。

なお、台風16号により洪水調節と併せて貯水量の回復を図り、9月1日9時時点の貯水量は約12,548千m³、貯水率は94.3%となっています。今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を記し、ダムの効果発現に勤めてまいります。



(参考)一庫ダムの概要

1. 目的

・洪水調節

ダム地点における、流入量毎秒790m³のうち毎秒640m³の洪水調節を行い、猪名川の洪水流量を低減させる。

・流量の正常な機能の維持

猪名川沿川の既成農地のかんがい用水の補給、その他流水の正常な機能の維持と増進を図る。

・水道用水

兵庫県水道用水として毎秒1.922m³、川西市水道用水として毎秒0.116m³、池田市水道用水として毎秒0.365m³、および豊能町水道用水として毎秒0.097m³の合計毎秒2.500m³の上水道用水の取水を可能にする。

2. 諸元及び管理施設の概要

位置：兵庫県川西市一庫字唐松

河川名：淀川水系猪名川支川一庫大路次川

型式：重力式コンクリートダム

堤頂長：285m、 堤高：75m、 堤体積：440,000m³

流域面積：115.1km²、 湛水面積：1.4km²

常時満水位：EL149.0m

洪水期制限水位：EL135.3m

最低水位：EL108.0m

総貯水量：33,300千m³

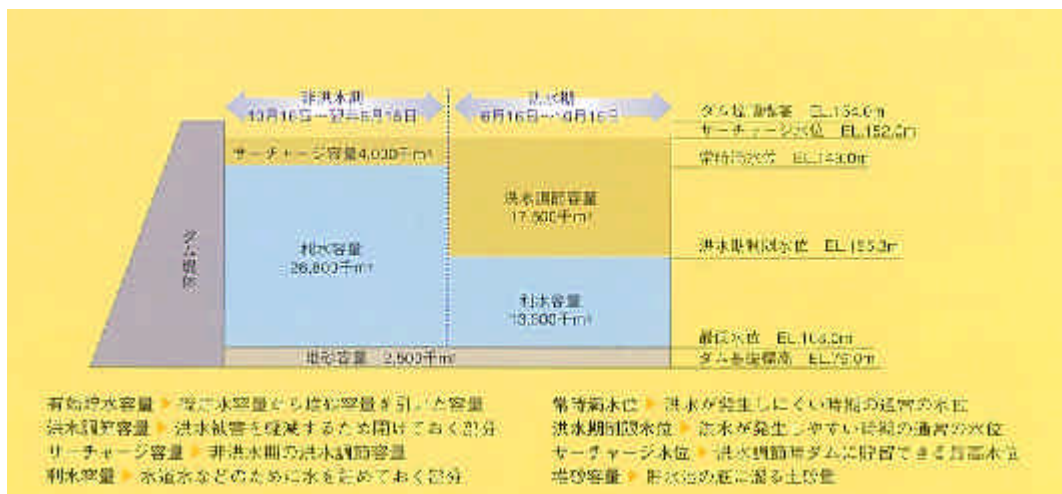
有効貯水量：30,800千m³

洪水調節容量：17,500千m³

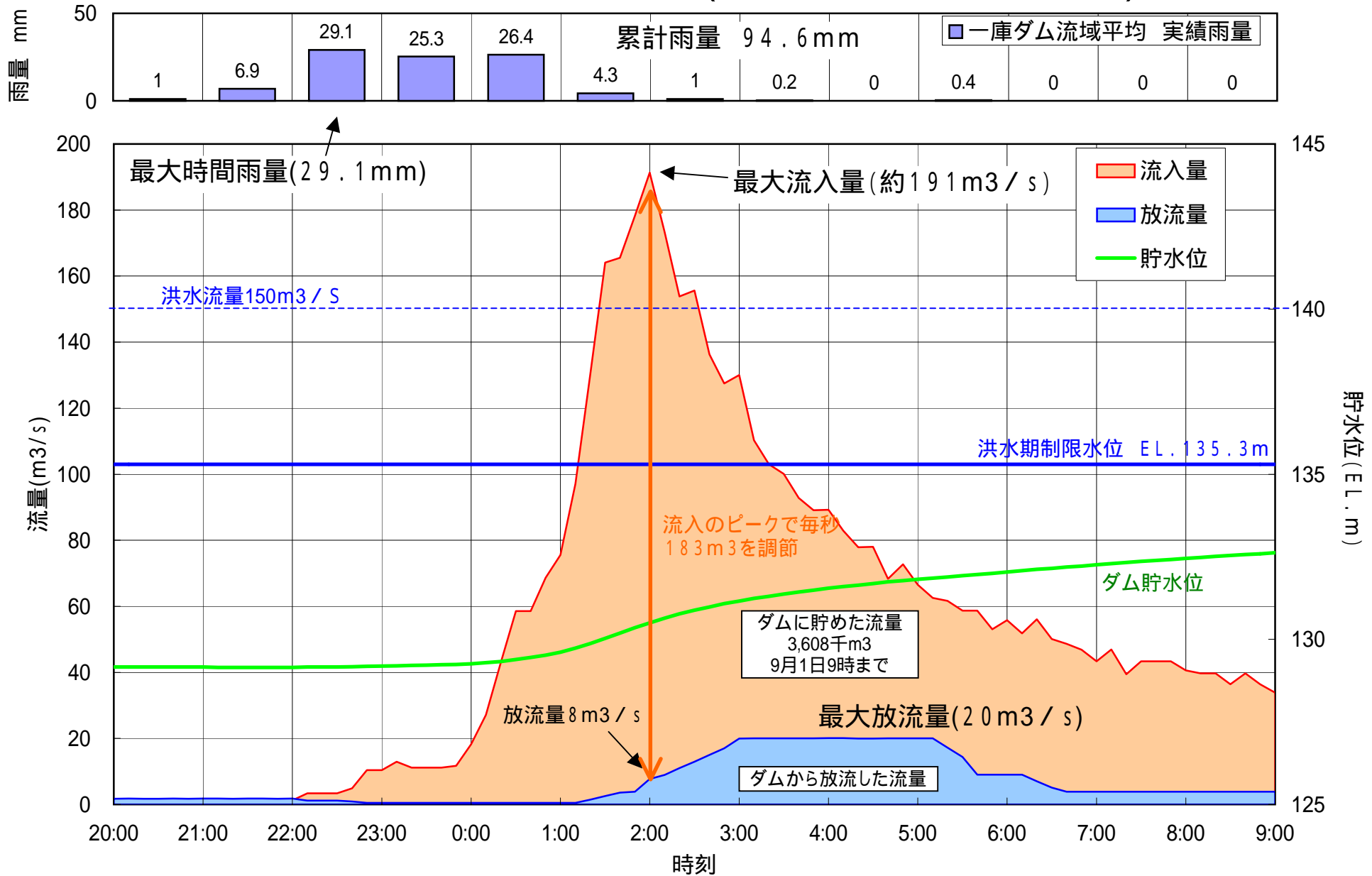
常用洪水吐設備：高圧ラジアルゲート2門

非常用洪水吐設備：ラジアルゲート2門

低水管理用放流設備：ジェットフローゲート1門

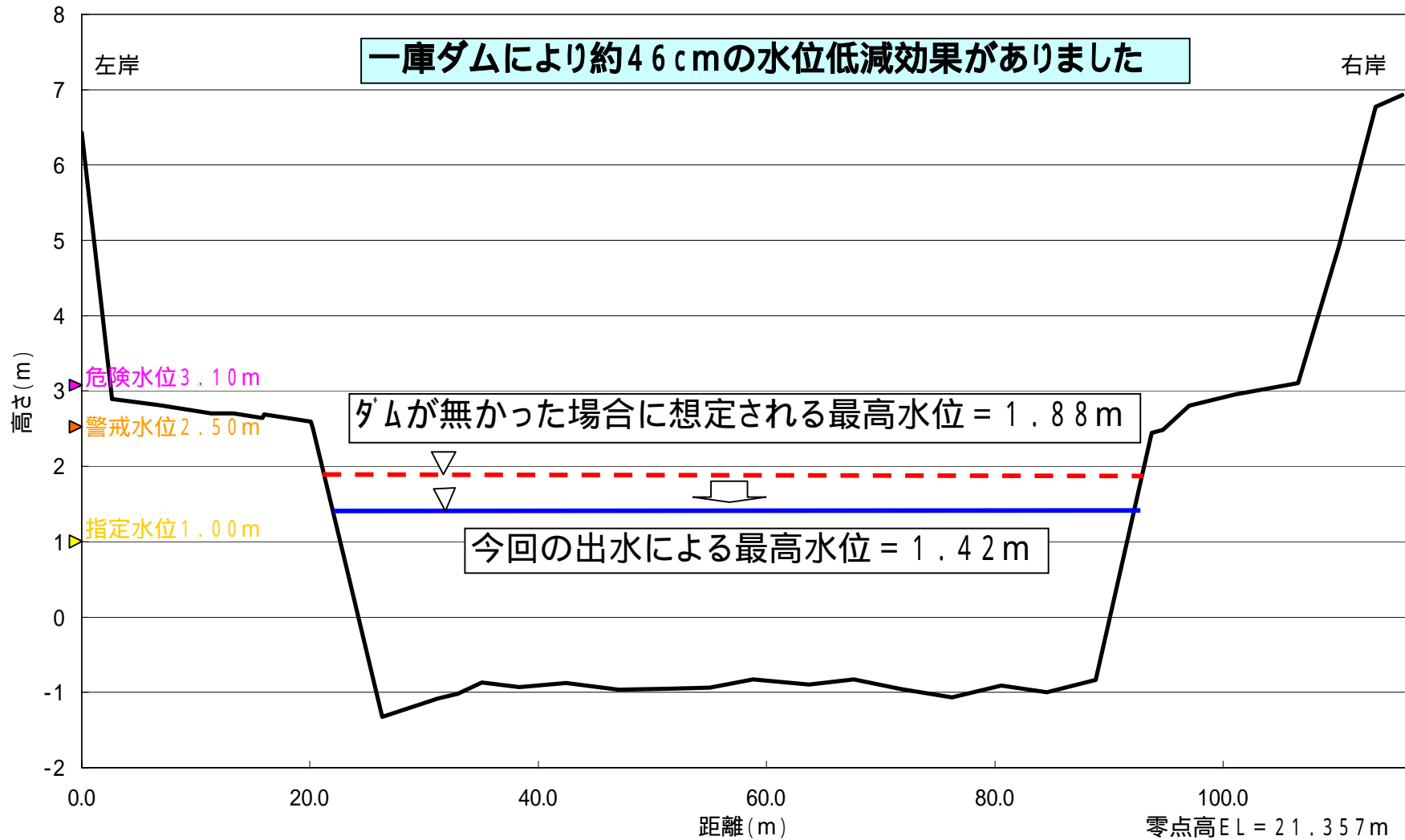


一庫ダム洪水調節状況(8月30日～8月31日)



平成16年8月31日台風16号

一庫ダムの洪水調節効果(小戸地点)^{おおべ}



一庫ダムによる小戸地点での水位低減効果

